

みんなでほっとミーティング（令和8年7月）報告書

開催日時	令和8年7月12日（日）午前10時から11時30分まで		
開催場所	中総合会館　4階　ホール		
参加市民	6人		
出席議員	肝付隆治（議長） 野瀬貴則（副議長） 山本治兵衛（議会運営委員会委員長） 川口孝文（議会運営委員会副委員長） 南　正弘（自民党鶴政クラブ議員団） 田畑篤子（新政クラブ議員団） 高橋秀策（超党・市民ファースト議員団） 杉島久敏（公明党議員団） 伊田悦子（日本共産党議員団） 合計9人		
内　　　　　　容			
【全体概要】 1　開会（副議長が司会進行） 2　開会挨拶（議長） 3　実施要領説明（副議長から当日の内容と進め方を説明） 4　6月定例会の概要説明（議運副委員長から6月定例会の概要を説明） 5　6月定例会に関する質疑応答 6　2つの班で意見交換（テーマ：子育てしやすいまちづくりについて） 7　各班の意見交換内容の共有（各班から報告） 8　全体での意見交換（各班の報告を踏まえて全体で意見交換） 9　閉会挨拶（議長） 10　閉会			
【6月定例会の概要報告】 《議会側からの説明》 ・　審議した議案の内容や議決結果を説明 《質疑応答の概要》 Q．医療機能再編に向けた基本合意後の検討開始から10ヶ月経過しているが、何も説明がなく、進捗が見えないため不安である。〔参加者〕 A①．説明がないため市民の中に不安があるというのは、おっしゃるとおりだと思う。何も解決したわけではないので、今後も一般質問等で訊ねていく。〔田畑議員〕 A②．市民への十分な説明がないのは私たち会派も遺憾に思っている。医師・看護師の確保については、関係機関としっかり連携をとって取り組んでもらいたい。〔伊田議員〕 A③．今は各設置団体との調整に時間をかけており、市として明確にお伝えできる段階でないこともご理解いただきたい。〔高橋議員〕 Q．9月から本格始動の「まいかつ」は、申込者が1割に満たない。パフォーマンスで終わらせないでほしい。〔参加者〕 A．子どもたちが「行きたい」「やりたい」と思うクラブを目指して取り組んでいるという話も聞いているので、これまで学校で行っていたものを地域展開してい			

くという過渡期であることも、ご理解いただきたい。〔川口副委員長〕

《その他意見》

- 吉田参事の経歴について、20年以上も前のことだからと言われても市民は納得できない。しっかり説明責任を果たしていただきたい、また、議員においては今後も追求・注視していただきたい。〔参加者〕
- 東舞鶴駅前には、これまで地域の有志でボランティアとして環境整備をしてきた。本来であれば市が取り組むべきことなのに、補助金という形での支援にとどまったことに疑問を感じている。また、今回、駅前にモニュメントができるのも工事の看板で知ったし、点灯式等の案内も何もなかった。実施後に新聞記事で知った。これまでボランティアで環境整備に取り組んできた地域住民に対して市は何も思うところがないのか。議会にはこれからも監視、そして発言をしていていただきたい。〔参加者〕

【意見交換の概要】

《1班の意見交換の概要》

- ◇ 高齢者・障害者に対する充実した支援
高齢者や障害者への支援について、デジタル障害者手帳など、他市が取り入れている良い施策については積極的に取り入れるべきである。
- ◇ 子育てする「親」への支援
子どもの養育の第一は親であるにも関わらず、通常果たすべき責任を果たしていない親への支援を考えるべき。頑張っている人に対しては足りない部分を、どうすれば子育てしやすくなるのかを見極めて行政が支援をしていく必要がある。
- ◇ 広報の工夫
せっかく良い事業があっても、知らない人が多く、活用されていない。もっと広報を工夫して、しっかりPRすべき。

《2班の意見交換の概要》

- ◇ 工事等の管理
工事や河川（草木の伐採等）の管理がしっかりなされているのか。いつまでにできるのか、といった状況等をしっかり伝えて欲しい。
- ◇ 不登校について
制度としてできているものとできていないものがある。市民の意見が届いていないのではないか。
- ◇ 子育て支援について
今回の参加者が子育てが終わった年代ばかりであったため、同テーマで、20代・30代の意見も聞き、多様な年代の意見を取り入れていくのが良い。

《全体での意見交換の概要》

- 「まいココ」はとても便利で良いツールで、特に若い世代からは喜ばれている。〔参加者〕
- ▷ 関係課とも共有しておく。〔野瀬副議長〕
- 「子育て」がテーマであるにも関わらず、現役の子育てしている人が参加していない。そういう人に多く参加してもらって生の意見を聞いてこそ、会を開いた意義があると思う。〔参加者〕
- ▷ チラシの配付先等工夫はしてみたが、来てもらえなかったことは残念。今回のことを反省し、違う形で意見を聞いていきたい。〔野瀬副議長〕
- ▷ （その他意見であった、参事の件について）参事の任命権については市長にし

かない。議会としてこれ以上追求しても同じ回答しか得られないと思われるので、市民の皆様には市長選等で判断していただきたい。〔山本委員長〕

☐ 市も議会も、その判断ができる材料を提示するようにしていただきたい。〔参加者〕

☐ この人数しか集まらなかったことは重く受け止めてほしい。〔参加者〕

▷ そのとおりであるので、しっかり受け止めさせていただく。〔野瀬副議長〕

※ アンケートに記載いただいた質疑・意見とその回答は、別紙に取りまとめています。

【総括】

今回は、人数も少なく2つのグループに分かれて意見交換を行い、各グループの意見交換の内容を共有した上で、最後に全体での意見交換を行う方式とし、様々なご意見をお聞きすることができた。

意見交換を通じて、主に以下の点が課題として示されたと考える。

《広報の工夫》

制度の情報や工事の期間など、必要な人に届いていない。広報（PR）の工夫が必要である。

《ほっとミーティングの在り方》

テーマに沿った人が参加していない、参加者が少ない・固定化している。今後の開催の仕方についても再検討していく必要がある。